

PCaPC工法の特徴

高品質な建物を提供

高強度コンクリートとプレキャスト部材の採用により、高品質で耐久性に優れた建物を提供します。

プラン展開の自在性

大スパンの採用で住戸に柱型のない空間を構築できるので、プラン展開の自在性に優れた空間を提供します。

耐震性に優れた安心な建物を提供

プレストレスト力により、地震後でもひび割れのない構造体を構築でき、耐震性に優れた安心な建物を提供します。

資産価値を損なわない建物を提供

RC構造と比べ、ひび割れのない構造体の構築が可能のため、資産価値を損なわない建物を提供します。

環境配慮性

柱・梁等の部材がプレキャスト部材であるため、木製型枠の使用量削減にも大きく貢献します。

躯体施工期間の短縮化

プレキャスト部材の圧着接合工法であるため、躯体施工期間の短期化が可能です。

施工手順

工場製品（生産）



現場建方



部材搬入

柱建方

柱PC鋼材緊張

梁架設

床版敷設

トップコンクリート打設

梁PC鋼材緊張

グラウト

躯体施工完了

施工における優位性

躯体工程の短期化

延べ月数	1	2	3	4	5	6	7
PCaPC工法	免震ピット						
	躯体工事						
	仕上工事						

例えば、PCaPC工法の場合、7日～9日／階で躯体を構築していくことが可能です。
(在来RC工法の場合、概ね14日／階)

優れた作業環境を実現

躯体工事では、ハーフPCa板を用いた場合、本設のスラブが作業足場として使用でき、必要最小限の外部足場で施工可能なため、転落等のリスク防止に優れ、安全性の向上が図れます。また、場所打ちコンクリートがスラブ等の一部のみであるので、現場での省力化が図れます。

木製型枠を大幅に低減

工場で主要部材を鋼製の型枠で生産するため、在来工法に比べ木製型枠の使用を大幅に低減することができ、廃材の大幅な低減が可能となります。

設計・施工実績

某研究施設



■建築概要

建築面積：3,539.98㎡

延床面積：6,087.31㎡

建物高さ：15.30m

最大スパン：17.00m

階数：地上2階、塔屋1階

構造：PCaPC造(一部RC/S造)・免震システム



株式会社富士ピー・エス 技術本部

〒136-0071 東京都江東区亀戸2丁目26番10号(立花亀戸ビル)

URL <http://www.fujips.co.jp>

TEL：03-5858-3161 FAX：03-5858-3162